

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

市場流通の活性化を通じて、広く社会に貢献する

② 中長期の経営戦略

1. 大田市場ハブ化推進

大田市場を商流の基盤としたハブ化を推進し、全国産地の商流・物流調整機能を強化

3. 2026年度中期計画推進

直送を含めた戦略的取組で立地優位性を活かし、グループ全体の売上・利益最大化

2. 集荷体制強化

首都圏の販売力を活かした価格形成で産地信頼を築き、全国産地からの集荷を強化

4. 新規事業・効率化展開

業務加工取引・新規取引先開拓・商品開発を推進、パレット輸送など物流効率化実施

③ 対処すべき課題

① 市場外流通への対応

- ・卸売市場法改正による商物分離・取引自由化への適応
- ・産地の市場集約化や異業種参入への対応
- ・市場外流通拡大への対応

② 2024年問題対応

- ・物流問題への対処
- ・サプライチェーン物流合理化
- ・物流部門体制強化

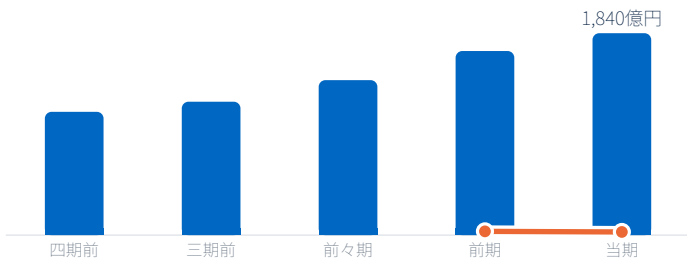
③ 利益増大・財務強化

- ・買付利益率の向上
- ・販売事故費削減
- ・自己資本充実

面接で使えるポイント

- ・大田市場をハブとした全国産地との商流・物流調整で、生産者から消費者への流通を支える
- ・卸売市場法改正による商物分離進展や市場外流通拡大など、急速に変わる経営環境への対応
- ・2026年度中期計画で直送やパレット輸送など新たな取組を通じ、売上・利益最大化を追求

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社（東京青果株式会社）、子会社 7 社及び関連会社 3 社により構成されており

主力事業・セグメント

・卸売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・連結売上高1,840億円の事業規模

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
1,840億円営業利益率
1.6%財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 67.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

